

12月4日～10日は「人権週間」です

1948(昭和23)年12月10日、「世界人権宣言」が国連の総会で採択されました。国連は、このことを記念し、後の1950(昭和25)年の総会で12月10日を「人権デー」と決めました。日本では、人権デーを最終日とする1週間が「人権週間」と定められ、人権尊重思想の普及高揚のための啓発活動が全国的に展開されています。播磨町では毎年、人権週間に「こころふれあう町民のつどい」を開催するとともに、広報はりにまに人権に関するページを設け、皆さんに情報を提供しています。

▼問い合わせ 生涯学習グループ ☎079(435)0565



人権教室
学校などに出向いて人権についてのお話をしています



人権相談
加古川法務局では、毎日。播磨町では、月2回(第2・4木曜日)「困りごと相談(人権相談)」として実施しています

人権擁護 委員の活動

住民一人ひとりの人権意識を高め、人権への理解を深めてもらうために、様々な活動をしています。



ペープサート
紙人形です。皆それぞれ素晴らしい個性を持っている、ということに気づいてもらうお話です



啓発活動
駅前やイベント会場などで、人権擁護のパンフレットや啓発物を配布しています



小中学生を対象に配布しています。誰にも相談できずに悩んでいるときに手紙で相談してもらい、返事を出しています

人権週間強調事項

- ・女性の人権を守ろう
- ・子どもの人権を守ろう
- ・高齢者を大切にすることを育てよう
- ・障害のある人の完全参加と平等を実現しよう
- ・部落差別をなくそう
- ・アイヌの人々に対する理解を深めよう
- ・外国人の人権を尊重しよう
- ・HIV感染者やハンセン病患者などに対する偏見をなくそう
- ・性的指向を理由とする差別をなくそう
- ・性同一性障害を理由とする差別をなくそう
- ・刑を終えて出所した人に対する偏見をなくそう
- ・犯罪被害者とその家族の人権に配慮しよう
- ・インターネットを悪用した人権侵害は止めよう
- ・ホームレスに対する偏見をなくそう
- ・北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めよう
- ・人身取引をなくそう

播磨町には、町長から推薦されて法務大臣が委嘱した人権擁護委員が4人います。
(50音順、敬称略)

- 加田平靖子 西野添3丁目 ☎078(942)7210
- 小林誠 北本荘5丁目 ☎079(437)1464
- 多々良章子 西野添2丁目 ☎078(943)1465
- 吉川健次 古宮 ☎078(942)9005

特設困りごと相談(人権相談)を開設

いじめなどの直接的な対人関係や、インターネットを悪用したいやがらせなどでお悩みの方は、お気軽にご相談ください。相談は無料で秘密は厳守します。(予約は不要です。直接お越しください)
▼日時 12月3日(木) 午後1時～3時
▼場所 福祉しあわせセンター ※毎月第2・4木曜日の午後1時～3時も行っています。
▼問い合わせ 福祉グループ ☎079(435)2362

こころふれあう 町民のつどい



映画「ブタがいた教室」
大河ドラマ「天地人」の直江兼続役でおなじみの妻夫木聡が教師役を好演！
監督：前田哲
出演：妻夫木聡、原田美枝子、大杉漣ほか

入場無料

▶日時 12月6日(日)
午前の部 10時～正午 (9時30分開場)
午後の部 1時30分～3時30分 (1時開場)
▶場所 中央公民館大ホール

“いのち”や“教育”のあり方が問われている今こそ、ぜひ親子で、ご家族で、ご鑑賞ください。

あらすじ
— “いのち”の長さは誰が決めるの? —
“ブタを飼って育てた後、みんなで食べよう”一星先生の提案に6年2組は騒然となる。小屋を作り、掃除、エサやりなど生まれて初めての経験に戸惑いながらも、成長してゆくブタに愛着を抱いてゆく子どもたち。「Pちゃん」と名づけ、家畜ではなくペットとして慈しむようになるが、卒業の時は迫り、Pちゃんの処遇をめぐる教室を二分する大論争が巻き起こる。
1990年、大阪の小学校で新任教師がはじめた実践のエピソードを映画化した感動の実話。

▶主催 播磨町、播磨町教育委員会
▶共催 播磨町人権・同和教育研究協議会
▶協力 手話サークルはりま、要約筆記ひまわり
※映画には字幕があります。
※満員の際は入場制限があります。
※駐車場に限りがありますので、徒歩か自転車でお願いします。
※託児(1歳以上)を希望される方は、11月30日(月)までに生涯学習グループへお申し込みください。
▶問い合わせ 生涯学習グループ ☎079(435)0565